



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和5年7月11日（火）



大好きいっぱい チーム愛宕



6月29日（木）、岡崎市の教育長先生をはじめ、市教育委員会より7名、市教科領域指導員会より9名の先生方が来校されました。愛宕小学校の子供たちの、授業で頑張る姿を参観されました。そこで、お褒めの言葉をいただきました。①担任と子供たちの関係性がよく、授業中温かさが伝わってきた ②子供たちがどの授業においても真剣に向き合っている姿が見られた。環境面においては、①教室掲示には学習してきたことの足跡がよく残され、学びがいつでも確認、振り返りができるようになっていた ②教室、学校全体が整理整頓され、とてもすっきりしていた 等です。また、午後3時から体育館にて研究授業の協議会が行われました。子供たちが分かる喜びや学ぶ楽しさを実感できる授業の実現のために、どんな工夫ができ、どんな教師支援が効果的であるかについて協議をしました。教師の授業力がさらに向上すれば、子供たちはより主体的に学び続けるようになると考え、今後も職員一同さらに研鑽を重ねていきます。



7月3日（月）、月曜朝会の校長の話ではまず、先週の研究授業では多くの参観者から愛宕小児童の頑張りを褒めていただいたことを伝えました。続けて次のように話しました。「授業の最後の振り返りってなんでやるのかな？(ここで、挙手した児童にマイクを向けて答えてもらいました)そうですね、この1時間の授業でどれだけ覚えているか。もうひとつあります。それは、次に生かすためです。次はもっとここを知りたい、といった次の授業に向けて新たな思いが出てくることです。さて、1学期はあと13日。1学期の生活を振り返ってみてください。目標の「あいさつ・ありがとう」ができましたか。できなかつたらあと13日あります。ここで挽回して1学期のまとめをしっかりと夏休みを迎えましょう」という内容で児童・職員へ伝えました。1学期のまとめをして夏休みを迎えられるようにしたいと思います。

7月10日（月）、能楽体験学習をしました。文化庁主催の「文化芸術による子供育成推進事業」として、本物の芸術に触れる体験活動を全校児童が体育館に入って行いました。(ちなみに9月11日(月)は能楽鑑賞会本公演を予定しています) この日は東京より3名の観世流能楽師が来校されました。能の世界にしっかりつかまりました。能の歩き方、喜怒哀楽の表情方法、謡(うたい)、代表児童の演技等、本物の芸術を体感できました。

